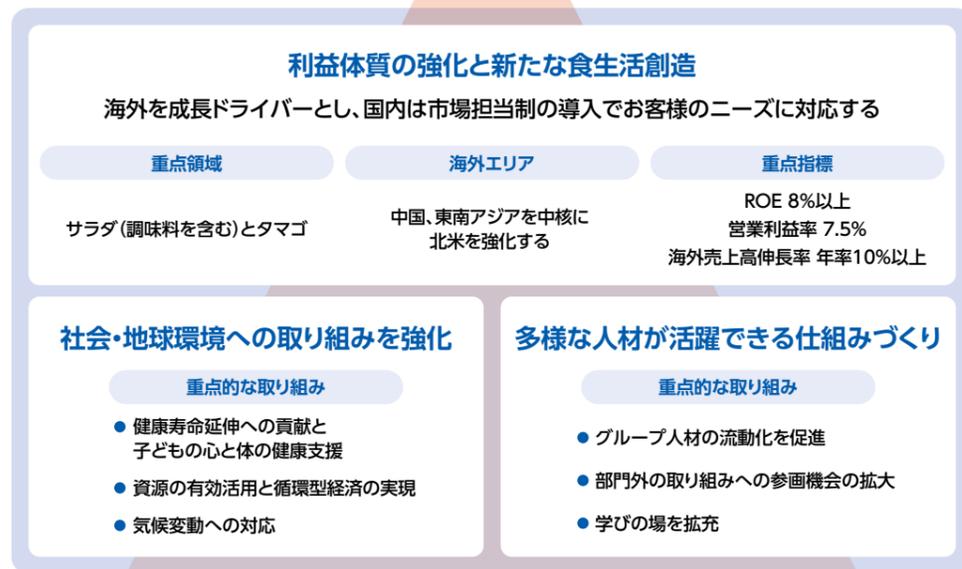


方針と目標

当社グループは「めざす姿」「2030ビジョン」を将来のありたい姿として、事業の持続的成長とともに、社会課題の解決に貢献していきます。2021年度から開始した中期経営計画では、「持続的成長を実現する体質への転換」をテーマとし、「利益体質の強化と新たな食生活創造」「社会・地球環境への取り組みを強化」「多様な人材が活躍できる仕組みづくり」の3つの方針に基づいて、事業活動を進めています。

2021-2024年度 中期経営計画 グループ経営方針

めざす姿 2030ビジョン 2021-2024年度 中期経営計画テーマ 持続的成長を実現する体質への転換



2021-2024年度 中期経営計画 2021年度の進捗

ROEについては当期純利益の回復に加え、100億円規模の自己株式を取得したこと、2024年度の目標である8%に向けて順調に推移しています。営業利益率については海外成長や市販用での利益改善が貢献しました。海外売上高伸長率については新型コロナウイルス感染症による影響からの回復と安定的な売上拡大により順調に推移しています。

「多様な人材が活躍できる仕組みづくり」では、人材流動化を目的として従業員の多様なスキルを活かす機会を提供するとともに、新しいスキルを習得できる取り組みも推進してきました。

指標	2020年度実績	2021年度計画	2021年度実績	2024年度目標
ROE	4.9%	6.4%	7.4%	8% 以上
営業利益率	6.5% 注1	6.6%	6.9%	7.5%
海外売上高伸長率(現地通貨ベース)	+4% 注2	+17%	+19%	(年率)+10% 以上
人材流動化比率 注3	16%	17%	18%	20% 以上
女性管理職比率 注4	10%	12%	11%	18% 以上

注1 2020年度実績 営業利益率は持分法適用関連会社へ移行した物流事業の業績を除いて算出しています。
注2 海外売上高伸長率は2020年7月に株式譲渡した北米タマゴ事業の業績を除いて算出しています。
注3 国内グループ会社を対象にしています。
注4 キューピー株式会社単体の在籍者を対象にしています。

サステナビリティの考え方

私たちは、サステナビリティ基本方針と推進体制のもと、グループ理念と規範の実践を通じて社会に貢献し、成長し続けるグループをめざしています。その実現に向けて重点課題とそれに紐づくサステナビリティ目標を設定しました。2021年度実績を鑑み、一部の目標値と内容を見直し、取り組みを進めています。また、2021年10月にTCFD*の提言に賛同を表明し、TCFDコンソーシアムに参画しました。

*G20からの要請を受け、金融安定理事会(FSB)が2015年に設立。気候変動によるリスクおよび機会が経営に与える財務的影響を評価し、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」について開示することを推奨しています。

キューピーグループ サステナビリティ基本方針

「愛は食卓にある。」への想いを大切に、さまざまな課題に対して「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって取り組み、解決をめざします。そして商品の設計、原料調達から、生産、販売、消費までのバリューチェーン全体を通じて人と環境をおもいやり、笑顔の溢れる未来を創ります。

- | | |
|-------------------|--|
| 食と健康への貢献 | <ul style="list-style-type: none"> サラダとタマゴのリーディングカンパニーとして、栄養・健康価値を追究し、広く普及することで、世界の人々の健康寿命延伸に貢献します。 未来を創る子どもたちの心と体の健康を、食を通じて応援します。 |
| 資源の有効活用・循環 | <ul style="list-style-type: none"> 卵のすべてを有効に活用する世界で唯一のメーカーとして、技術を磨き、価値を創造します。 食べ方提案と未利用部の活用により、世界的にユニークな「野菜活用メーカー」をめざします。 需要情報と生産・輸配送情報のマッチング技術を深耕し、食品ロスを削減します。 プラスチックの使用削減を進め、環境への影響を低減します。 |
| 気候変動への対応 | <ul style="list-style-type: none"> 原料調達から消費まで、バリューチェーン全体のCO₂排出量削減をめざします。 |
| 持続可能な調達 | <ul style="list-style-type: none"> 安全性はもとより、環境や人権への影響に配慮した安定調達をお取引先と協働して進めます。 |
| 人権の尊重 | <ul style="list-style-type: none"> 従業員のダイバーシティ&インクルージョンを推進するとともに、ビジネスに関わるすべての人の人権を守ります。 |

サステナビリティ目標と実績

<https://www.kewpie.com/sustainability/management/materiality/>

重点課題	取り組みテーマ	指標	2021年度実績	2024年度目標	2030年度目標	SDGsとの関連付け
食と健康への貢献	健康寿命延伸への貢献	一人ひとりの食のパートナーとして ●1日当たりの野菜摂取量の目標値350gの達成に貢献 ●たんぱく質の摂取に貢献するために卵の消費量アップを推進				2, 3, 4, 9, 10, 12, 13
	子どもの心と体の健康支援	私たちの活動で創る子どもの笑顔の数 (2019年度からの累計)	22.1万人	40万人以上	100万人以上	
資源の有効活用・循環	食品ロスの削減・有効活用	食品残さ削減率(2015年度比)	39.0%	50%以上	65%以上	12
		野菜未利用部有効活用率 主要野菜:キャベツなど	62.1%	70%以上	90%以上	
	商品廃棄量削減率(2015年度比)	61.3%	60%以上	70%以上		
	プラスチックの削減・再利用	プラスチック排出量削減率(2018年度比)	5.3%	8%以上	30%以上	
	水資源の持続的利用	水使用量(原単位)削減率(2020年度比)	2.1%	3%以上	10%以上	6, 7, 12, 14
気候変動への対応	CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量削減率(2013年度比)	24.0%	30%以上	50%以上	7, 13
持続可能な調達	持続可能な調達の推進	お取引先との協働によって「持続可能な調達のための基本方針」を推進				2, 15
人権の尊重	人権の尊重	ビジネスに関わるすべての人の人権を尊重するために「キューピーグループ 人権方針」を推進				5, 8

*2021年度の状況を鑑み、内容を一部見直ししています。また、「食品残さ削減率」の指標には「野菜未利用部有効活用率」も含まれています。
*サステナビリティ目標は国内の数値となっています。
*株式会社キューピー流通システムを持分法適用関連会社に変更したこととともない、数値を修正しています。